

企画・監修  
渡邊守章

# 能 と 狂言

# 春秋座



撮影=駒井社介(道成寺)

2016年

1月30日[土]

14:00開演(13:30開場)

※本公演の前に14時よりプレトークを行います

京都芸術劇場 春秋座

(京都造形芸術大学内)



プレトーク

渡邊守章(演出家、京都造形芸術大学客員教授)  
天野文雄(能楽研究、京都造形芸術大学舞台芸術研究センター所長・教授)

## 狂言 鐘の音

シテ 太郎冠者 野村万作

アド主 石田幸雄

後シテ 蛇体 観世鏡之丞

後見 岡聡史

前シテ 白拍子

## 能 道成寺

ワキ 道成寺住僧 宝生欣哉

大鼓 亀井広忠 大鼓 前川光範  
小鼓 大倉源次郎 笛 藤田六郎兵衛

### 赤頭

ワキツレ 従僧 大日方寛  
ワキツレ 従僧 御厨誠吾

アイ能力 野村萬斎  
アイ能力 高野和憲

後見 上野朝義 河村博重  
上野雄三

橋本忠樹 古橋正邦  
分林道治 片山九郎右衛門  
味方玄 青木道喜

鐘後見 馬野正基 安藤貴康 観世淳夫  
北浪貴裕 大槻裕一

狂言鐘後見

深田博治 中村修二  
内藤連 飯田豪



野村 萬斎



石田 幸雄



観世 鏡之丞



片山 九郎右衛門



宝生 欣哉



前川 光範



藤田 六郎兵衛



大倉 源次郎



亀井 広忠



2016年 1月30日[土] 14:00開演(13:30開場)

# 能と狂言

今年、京都芸術劇場創立十五周年の節目の年でもあり、「春秋座」能と狂言も更なる実験を目指して、「歌舞伎劇場における能の『道成寺』を観ていただき」ます。紀州道成寺の釣鐘を巡る伝説は、中世以来あったようですが、舞台表現としては、十五世紀後半〜十六世紀初頭に活躍した能作者小次郎信光の作とされる『鐘巻』が最も古いものと考えられています。

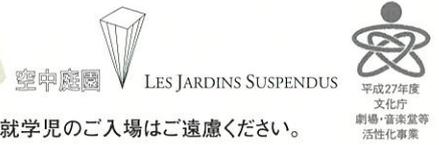
物語は、紀州にある、藤原道成建立になる道成寺に、毎年東北から巡礼に来る僧がいて、彼が定宿としていた家の娘が、父の言葉や信じて、将来の夫と想っていたところを、その話を聞いた僧が驚いて逃げ出すと、裏切られた娘が彼を追いつ、折から増水した日高川を、執念の「大蛇」となって渡り越え、降ろした釣鐘の中に隠れていた僧を、釣鐘もろとも「怨念の焰」で取り殺す、というものです。

能『道成寺』では、絶えていた釣鐘を再建する「鐘供養」の場に、美しい「白拍子」の姿で「裏切られた女」(前シテ)が現れ、舞を舞い、嫉妬の怨念によって釣鐘を落とす前段と、寺の長老ワキによる「語り」を挟んで、僧侶たちの祈りによって引き上げられた鐘の中から、「蛇体」の「鬼女」(後シテ)が現れ、僧と闘い、最後は僧に調伏されて、日高川に飛び込んで消えます。「恋の怨念」の物語を舞台に掛けた作品として、物語「ヴェル」の力に加えて、いやそれ以上に、舞台の演出において、特に演者、つまりシテと小鼓の「乱拍子」と呼ばれる極度に切り詰められた「舞」と、それに続く「急の舞」から、舞台中央に釣られた鐘が落下し、そこへシテが飛び込む「鐘入り」へと、他の能には見られない強度に貫かれています。

ワキである僧の、「呪われた釣鐘」に関わる「語り」も、「乱拍子」の間、微動だにせず控えている集中の強度とともに、この能の重要な見所です。鐘が引き上げられて、「蛇体」の姿を表した「後シテ」と僧たちの呪術的な戦いも、能の「鬼女物」の精髓を体験させてくれます。

この能の、ほとんど主人公と言ってもよい「釣鐘」は、舞台が始まる前に、狂言方によって運び込まれ、舞台天井の中央に設置された「滑車」に、綱によって吊るされるのですが、こういう至難の「作業」までも見せてしまうところが、この曲の一つの魅力でもあります。

『道成寺』の前に演じられる狂言『鐘の音』は、野村万作師が得意とされる曲で、息子の元服祝いに、「黄金を熨斗付けたした刀」を作ってやろうと思った主人に、鎌倉へ行って「金の値」を聞いて来いと命じられた太郎冠者が、それを「鐘の音」と取り違えて、寺々の「鐘の音」を聞いて歩く話で、釣鐘を打って出る「音」を、太郎冠者自身が自分の声で表現し、かつ聞くという、声の芸と聴く芸とを、一人で表現する「超絶技法」であり、『道成寺』の「呪われた鐘」の物語の前に、釣鐘の音の世界を舞台に拡げて下さるものと思います。(渡邊守章)



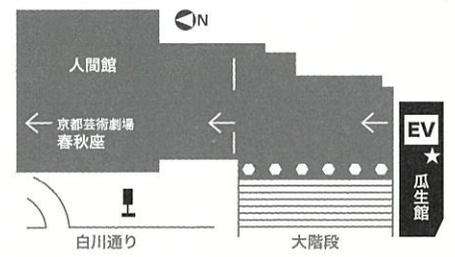
□入場料(全席指定)  
<S席> 一般——8,000円 シニア——7,500円 友の会——7,000円  
<A席> 一般——7,000円 シニア——6,500円 友の会——6,000円  
<学生&ユース席> 2,500円 ※ユースは25歳以下、シニアは60歳以上/シニア・学生・ユースは要証明書提示。未就学児のご入場はご遠慮ください。

- チケット発売日  
友の会先行発売: 2015年10月27日(火)  
一般発売: 2015年10月28日(水)
- 主催・お問合せ先  
京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター  
Tel 075-791-9437
- チケット取扱い  
●京都芸術劇場チケットセンター(窓口販売・電話予約)  
Tel 075-791-8240(平日10:00~17:00)  
●劇場オンラインチケットストア※要会員登録(無料)  
パソコンから  
<http://www.k-pac.org/>  
携帯電話から  
<http://www.k-pac.org/theatre/m/m>  
●チケットぴあ  
Tel 0570-02-9999 Pコード: 447-114  
●京都・滋賀各大学生協プレイガイド

京都芸術劇場 春秋座 [京都造形芸術大学内]  
〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116



- JR: 近鉄京都駅、京阪三条駅、阪急河原町駅から京都市バス5番「岩倉」行き乗車、「上終町・京都造形芸大前」下車(京都駅から約50分、三条駅・河原町駅から約30分)
  - 京都市営地下鉄丸太町駅・北大路駅から京都市バス204循環に乗車、「上終町・京都造形芸大前」下車(約15分)
  - 京阪電車出町柳駅から叡山電車に乗り換え、茶山駅下車 徒歩約10分
- ※駐車場はございませんので、お車・バイクでのこ来場はお断りします。



白川通りから劇場1F(人間館1F)へは、新設の瓜生館エレベーターをご利用下さい。

※車椅子ご利用のお客様、足の不自由なお客様は、お電話にてお申込み、お問い合わせください。(075-791-8240: 京都芸術劇場チケットセンター) / 劇場2階席への移動は階段のみとなります。